

看護研究交流センターの新たな事業展開のための組織改革について

センター長 吉山直樹

平成16年度中に、平成17年度以降の新しい運営システムが検討され、新しい規程を決め平成17年4月より実行に移される。組織上の変更としては、次の諸点である。

- 1) ネットワーク部会を廃止
所期の目的を達成したので、今後は研究グループ（後の4）を参照）としての活動に転換し深化させることとした。
- 2) 運営会議の設置
平成16年度までは部会毎の会議で運営され、それなりに効率的であったが、地域貢献と協同活動の強化のために運営に関する重要事項を審議する中心組織として設けた。
- 3) 他大学・他施設協同事業の強化
生涯学習・研修支援部会にもう一つの柱を設け、地域の大学や諸施設との協同事業を強化していくこととした。
- 4) 大学におけるIT化事業の強化
研究事業部会の課題研究領域について、本学のIT環境の強化が地域連携の要である、という観点から新たな範疇を設け、取り組むこととした（下図の5）。

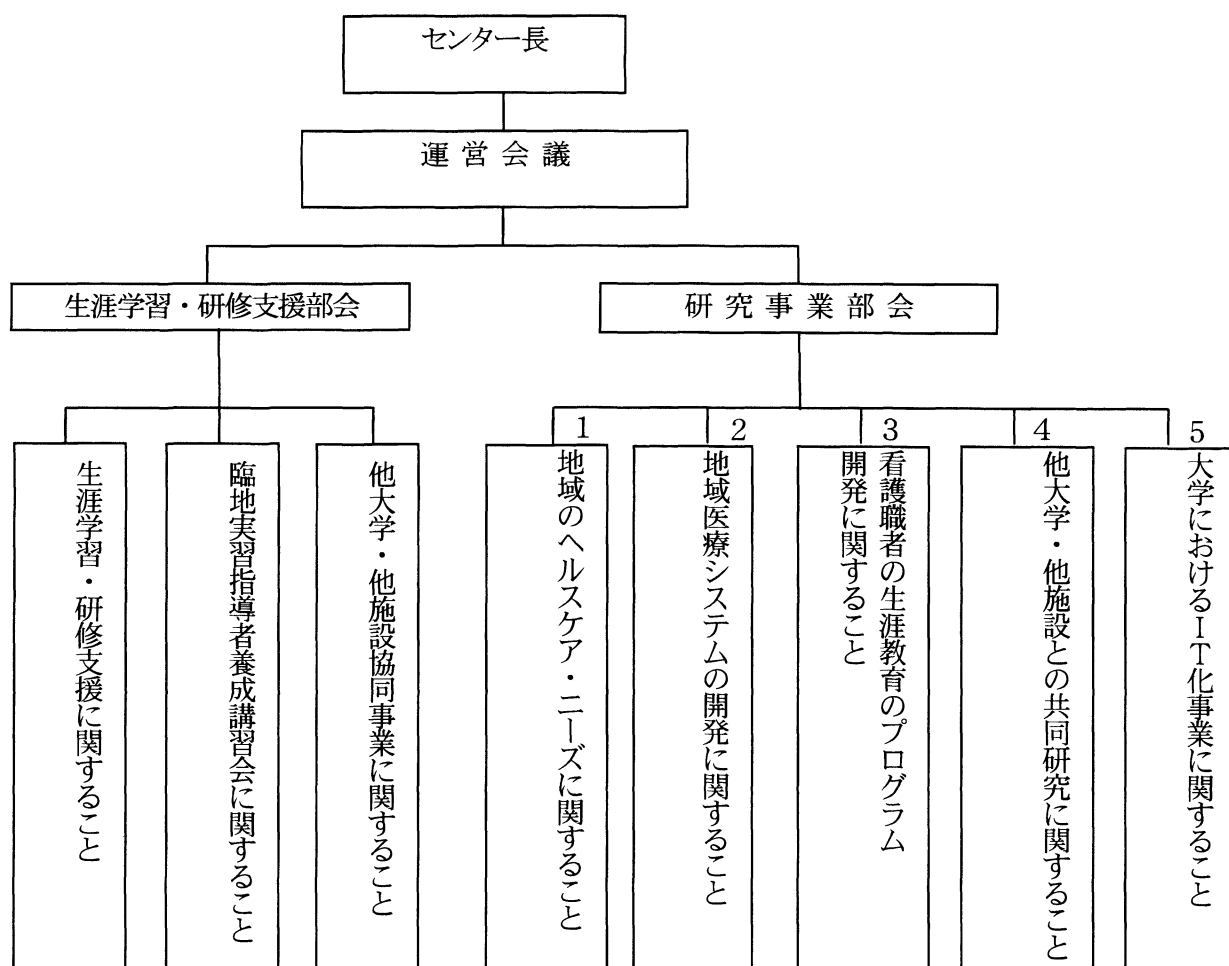


図 新たな事業展開のための組織

平成17年度センター組織（敬称略，順不同）

1) センター長 吉山直樹，2) 生涯学習・研修支援部会部会長 深澤佳代子，3) 研究事業部会部会長 柿川房子，4) 運営会議委員 中島紀恵子（学長），加藤光寶，加城貴美子，加固正子，橋本明裕，中村博生，藤田 尚，渡邊博文（事務局長）